

出席者	住民	17人	市 大城市長・菊池副市長 政策推進課 萩森係長・井野係長
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
※事前質疑なし			
子育て支援課 政策推進課	子育て支援策のPRについて	八幡浜市の子育て支援策は、他の自治体と似たようなものではないか。八幡浜市独自で、これは特別というようなものがあれば、冊子(はまっこわくわくライフ応援パッケージ)で目立たせるなどしたらいいのではないか。	<p>特定の大膽な施策はないが、平均的に全てにおいてやっていくことが良いと考えている。人が来やすくなる、住みやすくなることを考えて、まちづくりをしていく。</p> <p>【補足】 少子化・人口減少対策において、子育て支援は重要な施策の一つと捉え、他の自治体と同水準の支援策を実施している。しかしながら、他の少子化・人口減少対策や、現在、八幡浜にお住まいの方々が幸福度の高い生活を送れるような施策も同様に重要であると考えている。これらをバランスよく実施することで、今も将来も八幡浜に住む方々が暮らしやすいまちとなり、人口の定着に繋がると考えている。今後も、市の実施する様々な施策を市民や八幡浜市に関心を持つ方々に分かりやすく伝えるよう取り組む。</p>
財政課・政策推進課	広報誌の予算の表現の分かりやすさについて	広報誌において、市の予算〇億円とただ数字で記載されても分からない。例えば他市との比較などを用いて財政状況が分かりやすいように示してほしい。	<p>日々、市民の方に分かりやすいように広報誌を作成しているところだが、仰られるように確かに予算のページは数字や用語が多く分かりにくい部分もある。他市との比較など頂いたアイデアも含めて、もう一步分かりやすく伝わるように努めていく。</p> <p>まず、予算については組むことが厳しくなってきた。ふるさと納税により財政は助けられているが、全国的に物価高や人件費増で厳しく、県内では財政調整基金が少なくなってきた、財政健全化のための委員会まで立ち上げた自治体もある。八幡浜市も令和7年度は財政調整基金を崩さないと言算が赤字になる状況で、非常に厳しい環境の中にあるのは事実である。</p>
市立病院	市立病院の経営状況について	市立病院が黒字になったのはコロナ禍だけだったのか。	<p>市立病院の収支状況は特に厳しく、電気代や人件費の増大、国が決める診療報酬が上がらないことが要因。市立病院を利用するなどして、理解と協力をお願いしたい。</p> <p>【補足】 市立病院の経常利益は、平成25年度から令和4年度まで黒字となっており、令和5年度はコロナ関係の補助金等が無くなったことから赤字となった。令和6年度の赤字の要因については、かこむ会での回答の通りであるが、地域住民の方に必要な医療体制を維持していくため、今後も経営改善に努めていきたい。</p>
生涯学習課	旧図書館の移築・活用について	旧図書館(松村建築)の移築先と活用方法について知りたい。	市民文化活動センター横に移築する。1階は喫茶店、2階はフリースペース、中二階は松村正恒氏の資料展示室として活用する。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
生涯学習課	旧川之内小学校の活用について	旧川之内小学校(松村建築)の今後の活用について、市の考えや地元がすべきことを知りたい。	美しい状態で保存活用したい。郷土資料館などの案もあるが、やはり地元の方々と協議していかなければならない。早いうちに結論を出して、進めたい。
子育て支援センター	高齢者と子供の交流促進について	高齢者と子どもが交流できる環境を作ってはどうか。	大賛成である。市は施設(ハード)を整備するが、その活用は市民のアイデアが重要となる。市はそうした活動を応援するので、地元の皆さんが主体となって上手な使い方を考えてほしい。 【補足】 地域包括支援センターでは、高齢者対象に実施する「認知症サポーター養成講座」や「はつらつ介護予防体操教室」に保育園児や小中高校生等も参加していただければと考えている。地域の高齢者と子どもたちが集まる機会があれば、当センターが講師として伺うので、ぜひご活用いただきたい。
生涯総務学習課	手漕ぎの消防ポンプの保存について	川之内の旧詰所にある古い手漕ぎ式消防ポンプに価値があるなら、展示・保存を検討してほしい。	そういうものはたくさんある。リストアップし、取捨選択しながら次世代に残していきたいと思っている。民俗資料館のような施設の検討も必要であり、早急に取り組みたい。